

Immediate Press Release 2012.5.24

特別展示 寺尾勝広・新木友行・湯元光男 — アトリエ インカーブ 3人展

Special thematic exhibition TERAO, SHINKI, YUMOTO from Atelier Incurve

謹啓 新緑の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、東京オペラシティ アートギャラリーの展覧会活動に対して、格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当館では、9月14日[金]より9月23日[日]まで、「特別展示 寺尾勝広・新木友行・湯元光男 — アトリエ インカーブ 3人展」を開催することになりました。

大阪市平野区にあるアトリエ インカーブは、社会福祉法人 ^{そおうかい}素王会のアートスタジオ兼事業本部として2002年に設立され、知的に障がいのあるアーティストたちの創作活動の環境を整え、彼らが作家として独立することを支援してきました。そのユニークな活動は、これまでサントリーミュージアム[天保山](2008年)、高梁市成羽美術館(2009年)、浜松市美術館(2010年)などで所属アーティストのグループ展が開催されるなど、注目を集めています。現在は28名が所属しますが、今回はそのなかから、寺尾勝広、新木友行、湯元光男の3人のアーティストの作品を展示します。10日間の短い会期ですが、個性豊かな、独創性あふれる作品をお楽しみいただけます。

つきましては、この「特別展示 寺尾勝広・新木友行・湯元光男 — アトリエ インカーブ 3人展」を貴誌上で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

展覧会名： 特別展示 寺尾勝広・新木友行・湯元光男 — アトリエ インカーブ 3人展
Special thematic exhibition TERAO, SHINKI, YUMOTO from Atelier Incurve

会期： 2012年9月14日[金] → 9月23日[日] 会期中無休

会場： 東京オペラシティ アートギャラリー [4F ギャラリー 3, 4 およびコリドール]

開館時間： 11:00 — 19:00 (金・土は 20:00 まで/最終入場は閉館の30分前まで)

入場料： 一般 500(300)円/大・高生 400(200)円/中・小生 300(100)円

* () 内は15名以上の団体料金。その他、閉館の1時間前より半額、65歳以上半額。土・日・祝日の中・小生無料。

*障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

お問合せ： 03-5353-0756

ウェブサイト： <http://www.operacity.jp/ag/>

主催： 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 / 朝日新聞社

協賛： 日本生命保険相互会社

■本リリースに関するお問い合わせ

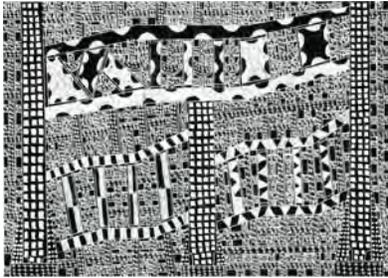
東京オペラシティ アートギャラリー 【展覧会担当】 堀 【広報担当】 吉田

Tel : 03-5353-0756 / Fax : 03-5353-0776 / Email : ag-press@toccf.com

出品作家紹介

寺尾勝広 TERAO Katsuhiko

1960 年生まれ。父親が経営する鉄工所で溶接工として 20 年間働いたのち、制作活動を始めた。こうした経歴を色濃く反映して、作品のモチーフはすべて鉄である。本人が「図面」と呼ぶ緻密なドローイングは、実際に訪れた場所だけでなく、テレビ番組などで見た場所や情景などもテーマになっているが、いずれも鉄骨の柱をあらゆる直線と溶接の目印をあらゆる記号がひしめいている。今回の展示では、過去に発表された大作のほか、それぞれ制作に半年近くをかけた縦 2.7メートル、横 4.3メートルの大作 2 点を初めて展示する。ニューヨークのギャラリーのほか、国内の美術館での展覧会多数。昨年、名古屋の GALLERY NYH で個展が開催された。



寺尾勝広
《柱とカイダン図面》
ペン、厚紙
257×364mm 2011 年
© 2012 atelier incurve



寺尾勝広
《今木+インカーブ鉄工所》
色鉛筆、厚紙
727×1080mm 2011 年
© 2012 atelier incurve

新木友行 SHINKI Tomoyuki

1982 年生まれ。大の格闘技好きで、作品にもボクシング、プロレスなどの格闘技の技が頻りに登場する。無骨な格闘家たちの隆々とした筋肉の動き、互いの体が組み合い、もつれ合う様子を、冷静な観察力のもと、繊細な輪郭線によってじつと的確にとらえる。その黒い線描と、主に色鉛筆による鮮やかな色彩表現とが共鳴し合い、大胆にデフォルメされた技の数々は躍動感に満ちている。アトリエ インカーブのアーティストのなかでは、寺尾と並んで、数多くの展覧会に出品している。2010 年、ギャラリー インカーブ | 京都で個展「Draws and Flows」を開催した。



新木友行
《ムーンサルト》
ペン、色鉛筆、パステル、紙
863×1780mm 2009 年
© 2012 atelier incurve

湯元光男 YUMOTO Mitsuo

1978 年生まれ。湯元の作品では建物、船、虫や鳥などのモチーフが繰り返して登場する。それぞれのモチーフの特徴を鋭い洞察力で端的にとらえ、画面に写し取っていく。色鉛筆で丁寧に彩られた色面は、まるで南国を思わせるような色鮮やかさと同時に、どこかちぎり絵を連想させるようなノスタルジックで心温まる雰囲気を出している。実際の建物や風景がもとになっている作品が多いが、それが奇妙に変換されて、何かの物語が始まる舞台や、その一場面でもあるかのように、未知なる世界が構築されている。寺尾、新木とともに海外で高く評価されている。



湯元光男
《新しくサントニー島》
色鉛筆、紙
862×1780mm 2007 年
© 2012 atelier incurve

アトリエ インカーブ そおうかい Atelier Incurve

社会福祉法人 素王会そおうかいのアートスタジオ兼事業本部として 2002 年に大阪市平野区に設立。知的に障がいのあるアーティストたちの創作活動の環境を整え、彼らがアーティストとして自立することを支援している。現在 28 名のアーティストが所属。2005 年、ニューヨークで開催されたアートフェアに出品以降、海外・国内の美術館やギャラリーで展覧会が開催されている。2010 年にアトリエ インカーブのアーティスト専門の「ギャラリー インカーブ | 京都」がオープンした。